

いっぺいといっぷく Vol.61



市長は長久手をどんなまちにしたいか、そのために何に取り組もうとしているのか。その想いを市長の語り口でお伝えします。みなさんと語り合うように、一緒に未来の長久手のことを考えてみましょう。また、市HP【によぜがもん】もぜひご覧ください。
[市HPのトップページから「によぜがもん」をクリック。]



落ち葉

秋の風物詩といえば落ち葉ですが、みなさんはどのような印象を持たれているでしょうか。掃いても掃いても、すぐに庭先を汚してしまう厄介者でしょうか。

子どもにとっては、落ち葉は格好の遊び道具です。落ち葉が敷き詰められると、地面はフカフカのじゅうたんとなり、飛び込んでも痛くありませんし、斜面を楽しい滑り台へと変えてくれます。また、植物にとっては、落ち葉は大切な栄養素です。落ち葉は発酵し微生物に分解されて腐葉土となり、新しい葉をつけるための養分となります。越冬する昆虫にとっては、落ち葉は温かい寝床となります。落ち葉を落ち葉と思うのかゴミと思うのかは、価値観なのです。

人間関係がうまくいかないとき、「価値観が合わない」とか、「性格が合わない」といったことばがよく出てきます。私は、性格については、持って生まれた性分や育ってきた環境による影響が大きく、なかなか変えられるものではないと思っています。価値観については、学び理解することで、ある程度は変えられるものだと思います。様々な人たちの、様々な価値観を理解するということは、これから人とひとが支え合って生きていく、地域福祉の実現に必要なもので、これから人が社会生活を営む上で、他人のためにも自分のためにも、それぞれが身につけなければいけないものだと思います。

以前、おおらかさは自然から学ぶのが一番だとお話しましたが、おおらかさとは多様性、つまり様々な価値観を認めて受け入れることだと考えています。様々な価値観を学ぶ上で、最も良い手本となるのは、やはり自然だと思います。人工物に囲まれた便利な生活に慣れてしまうと、何でも思いどおりになるという価値観となってしまうがちです。そうするといずれ、人付き合いも、暑さ寒さも、子どもが泣く、枯れ葉が落ちるといった当たり前の事さえもわずらわしいと感じ、受け入れられなくなります。自然のような、あるがままでコントロールできないものを学び、人間も自然の一部であることに気づき、わずらわしさを受け入れられる価値観を身につけることが、これからの社会に求められているのだと思います。

これから落ち葉の舞う季節となりますが、季節の移ろいなどを通して自然をよく観察すると、これまでは気づけなかった物事のよしあしに気づき、自分の中に新しい価値観が生まれるはず。それは自身の物事のとらえ方を変え、おおらかさを身につけ、わずらわしさを受け入れる一助になることでしょう。

HPを見る

長久手市安心メール、イベントメールの登録をお願いします

問 安心安全課 ☎56-0611 (記事ID 7067)

安心メールでは、市で把握した事件や不審者などの防犯情報、災害時の避難所の開設状況などの防災情報などを、イベントメールでは市内のイベント情報をメールでお届けします。

【登録方法】

- ① 右側のQRコードを読み取るか、anshin-add@ai.e-msg.jp に空メールを送信する。
- ② 返信メールに従って手続き。URLにアクセスした際に、希望のメールにチェックをいれる。
- ③ 登録完了



ご近所で「いつもと違う」と気づいたときはお電話ください

長久手市地域見守り安心ほっとライン

0561-63-5556

24時間
365日受付

↑↑まちの話題↓↓

僕もびっくり!! N-バスレア車両

今回はぜひみなさんに知ってもらえたらと思います、N-バスのレア車両についてご紹介したいと思います。(投稿者:観光大使)

市民記者
ブログはこちら

